

ZOOMと会議室を組み合わせた研究会活動の前進を

最近の状況

NEWS LETTER第10号をお届けします。全国で緊急事態宣言が5月25日に解除されてから約1か月が過ぎましたが、まだコロナ対策と本格的な社会経済活動の両立に手さぐり状態の日々が続いています。米国、ブラジルなど諸外国の感染者数は更に増えており、一日も早いコロナ問題の終息を願うばかりです。

今後の活動方針を決定しました

6月12日（金）の幹事会（zoom開催）における検討を経て、「今後の活動方針」を決定しました。当面、Zoomと会議室を組み合わせて研究会活動の前進を図ることとし、定例会は、原則として奇数月第3木曜日に神保町付近の会議室で12時から14時まで開催します。会場は、従来の会議室とは別の広いスペースの会議室を利用します。準定例会は、偶数月第3木曜日に開催(原則zoom)、幹事会はzoomにより毎月第2金曜日に開催します。

水道公論7月号の予定

水道公論の「海外水ビジネスの要点」シリーズで、ベトナムワーキンググループの成果発表が始まります。7月号から10月号までの4回にわたって掲載予定です。どうぞご期待下さい。

なお、7月号には、一柳善郎氏（名古屋環未来研究所特別研究員、公益事業学会正会員）による「水道料金減免と水道財政への影響について考える」が掲載されます。新型コロナウイルスの流行に端を発した水道料金の減免の動きが各地で広がる中、この動きの背景として存在する問題点をまとめて載せました。この論文は、水道事業の採算性確保を重視する当研究会と一柳氏とのコラボレーションの中から本誌への寄稿が計画され、実現を見たものです。



写真提供:工藤克典

定例会・準定例会の計画について

- 7月16日（木）12時～14時に、工藤さんから水道公論に連載を開始したMDBsについての調査結果の報告・経協インフラ戦略会議の最近の動向等。会場は、東京都千代田区神田三崎町3-1-3 一輝ビル3F
- 8月20日（木）20時から。富岡さんから話題提供（zoom開催）
- 9月17日（木）12時～14時に、東京ガスの桜井さんからの話題提供。会場は、7月と同じ会議室を予定。

なお、zoomの利用時間は原則として40分単位となっており、当面開催時間は20:00～20:40としますが、この扱いについては、必要に応じて見直して行きたいと考えています。